



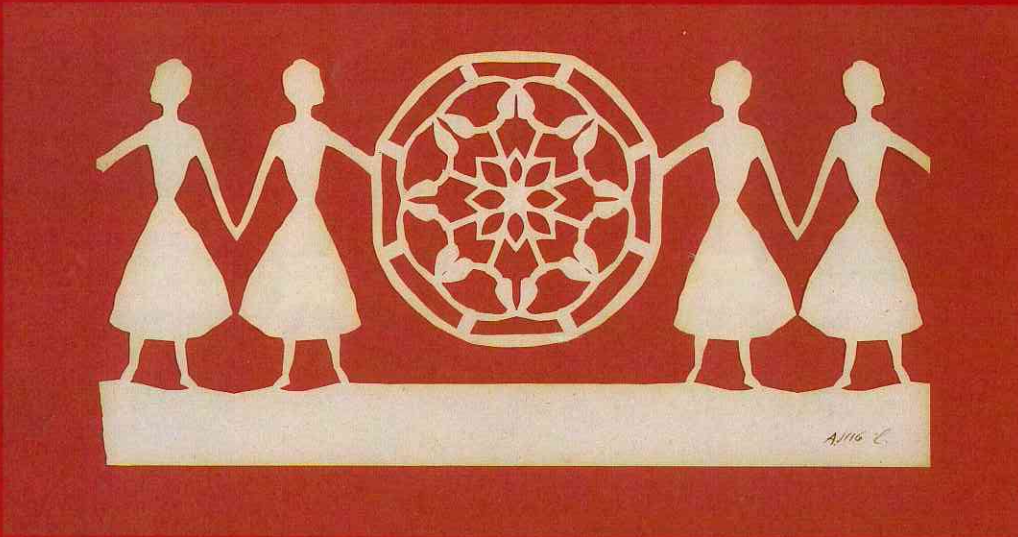
日本・デンマーク  
国交樹立 150 周年記念



# アンデルセン展



## The Andersen Exhibition



H.C. アンデルセン製作の切り絵 (C)Odense City Museums

2017 8.26<sup>土</sup> ~ 10.22<sup>日</sup>

- 開催時間 9:00~17:00 (入場は16:30まで)
- 休館日 毎週月曜日 (ただし月曜日が祝休日の場合は開館)
- 入館料 一般 150円 (100円) / 高・大生 100円 (60円) / 中学生以下無料  
※( )内は20名以上の団体料金 ※各種障害者手帳提示で付き添い1名まで無料

後援：外務省、デンマーク大使館 協力：オーデンセ市立博物館

 **狭山市立博物館**  
<http://sayama-city-museum.com>

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1丁目23番地1  
電話：04-2955-3804 FAX:04-2955-3811  
※ご来館は公共交通機関をご利用ください。  
指定管理者：アクティオ アクティオ株式会社



狭山市立博物館HP



空想の  
旅人

# アンデルセン展

恋をした時に「人魚姫」の無償の愛を思い出したり、自分に自信が持てない時に「みにくいあひるの子」に勇気をもらったり…。私たちは幼い頃に母親の膝の上で聞いたアンデルセンの童話を、ふと思い出すことがあります。どうしてアンデルセンの童話は私たちの心に響き続けるのでしょうか？

2017年、日本はアンデルセンの出身国であるデンマークと国交樹立150周年を迎えました。これを記念して、デンマーク王室を紹介し、デンマークのオーデンセ市立博物館所蔵のアンデルセンの遺品を展示します。貧しい靴職人の息子から世界的な童話作家となったアンデルセン。旅に生きたという生涯を辿り、美しい童話に秘められた深いメッセージを感じてみましょう。

## Hans Christian Andersen

ハンス・クリスチャン・アンデルセン  
(1805～1875)

デンマークのフーン島の都市オーデンセで靴職人の子として生まれる。14歳のときにコペンハーゲンに上京し役者や音楽家を目指すが挫折。その後デンマーク王や政治家の助力により教育を受ける。1835年発表の「即興詩人」で成功し、その後は旅をしながら創作を続ける。70歳で永眠。国葬で見送られる。珠玉の童話の数々は世界中で翻訳され、時代や国境を越えて読み継がれている。



## 公募展「第3回みんなのアンデルセン展」

全国から応募されたアンデルセン童話をテーマとした絵画や立体作品を展示し、来館者の投票によって表彰します。 入場無料

■展示・投票期間

10月1日(日)～10月22日(日)



〈第2回表彰作品より〉



## ◆イベントのご案内

### 講演会「アンデルセンと旅」

生涯、家を持たず人生が旅であった彼が見た世界は？ 故郷から首都コペンハーゲン、イタリア、ドイツ、イギリス、その行く先々でのエピソードと作品そして恋愛についてお話いただきます。

- 日 時：9月10日(日)13:30～15:00
- 講 師：天沼春樹氏(作家・ドイツ文学者)
- 定 員：50名(先着)
- 場 所：研修講義室
- 参加費：無料



アンデルセン愛用の鞆  
(ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館所蔵)

### まいまい体験講座

### 「切り絵モバイル」をつくろう！

切り絵の名手だったアンデルセンのように切り絵に挑戦。カラフルなモバイルを作ります。

- 日 時：土日祝日  
①10:30～12:00  
②13:30～15:00
- 参加費：200円
- ◎予約不要・時間内にお越しください。



### ◀ アクセス ▶

- ◆西武池袋線「稲荷山公園駅」より徒歩約3分
- ◆西武新宿線「狭山市駅」西口よりバス「稲荷山公園駅行」終点で下車、徒歩約3分
- ◆圏央道狭山日高インターより車で約15分

 狭山市立博物館